

平成29年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

報 告 書

平成29年10月

常総市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検・評価の対象

平成28年度常総市教育運営方針に掲げる事務

3 点検及び評価の方法

- ①平成28年度常総市教育運営方針の重点目標に対する主な取り組み、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の総合的な評価を受けた。
- ②平成28年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員がその有効性を3段階で評価し、及び意見等を付した。

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施したので、次のとおり報告する。

平成29年9月25日

常総市教育審査委員 梅 澤 浩

常総市教育審査委員 吉 原 寛 規

平成28年度常総市教育運営方針

常総市教育委員会

常総市では、合併後の平成20年に「健やかにひとを育み 緑豊かなまちづくりしようそう」を将来都市像とした常総市総合計画を策定し、平成25年度から5年間に取り組むべき基本方針として「常総市総合計画後期基本計画」を策定しました。市民の生涯を通じた学習活動の広がりにより、地域ぐるみでのまちづくりを支える人づくりや創造性豊かな明日を担う子どもたちの育成とともに、地域文化が生まれ、人と文化づくりを実感できる「豊かな人間性を育むまち」を目指します。

そのため、次の基本目標を掲げその実現に努めます。

◎ 基本目標

- | | | | |
|---|-----------|-----------|---------|
| 1 | 未来に夢をもち | 「生きる力」を育む | 学校教育の充実 |
| 2 | 安全 安心 | いきいき学ぶ | 教育環境の整備 |
| 3 | 市民のための | 進んで学ぶ | 生涯学習の推進 |
| 4 | いきいき健康づくり | 生涯スポーツの振興 | |

1 学校教育を充実し、次世代を育てます

各幼稚園・学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開することで、幼児・児童・生徒が豊かな人間性や基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、個性を生かし、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むという学習指導要領の趣旨を踏まえる一方、常総市の課題解決に向けた教育や特色を生かした教育の実践を目指します。

◎ 本年度の重点目標

- ① 関東・東北豪雨災害により被災した学校施設の復旧を進めるとともに、小学校の空調整備を推進し、教育環境の整備・充実を図る。（学校教育課）

【主な取組, 成果等】

- ・被災した玉幼・御城幼・大生小・玉小・石下小・水海道中・石下中の災害復旧工事を実施し、教育環境の回復を図った。
- ・近年の異常気象に対応するため、全小学校の普通教室や特別教室等に空調設備を設置し、教育環境の整備を図った。

- ② 学習指導要領等の内容を踏まえ、確かな学力を身に付けさせる指導を充実し、教員の指導力の向上と指導のための環境整備、拡充を図る。（指導課）

【主な取組, 成果等】

- ・計画訪問や要請訪問等を通して、教科・領域の指導の在り方について助言を行った。
- ・市内独自研究発表該当校に対して助言を行い、学校独自の授業スタイルの確立や授業力の向上を図った。
- ・全国学力・学習状況調査の問題の分析をもとに、今求められている学力を捉え、その定着に向けた指導の在り方について研修を行った。

③ 教科指導をはじめとしたICT活用の推進を図る。(指導課)

【主な取組, 成果等】

- ・平成28年度に導入されたタブレット端末の基本的な使い方について市内小中学校19校で研修会を行うとともに、8月には市教育研究会と「コンピュータ研修講座」(タブレット活用, 校務支援システム利用, 学校ホームページ編集等)を開催した。
- ・ICTを活用した授業の推進に向け、その有効な活用方法について、研修会を行うと同時に、学校訪問時に指導助言を行った。

④ 公立幼稚園の統合に向けた具体的な検討を行う。(学校教育課)

【主な取組, 成果等】

「常総市立幼稚園のあり方検討会」を再開し、5月及び7月に統合幼稚園の建設場所や今後の進め方などに関する意見交換を行った。また、庁内関係課と幼児施設の統廃合や土地利用の検討を行うとともに、12月には坂東市の認定子ども園の視察を行った。

⑤ 土曜日補習教室(常総ほっとサタデー教室)を拡大し、学習につまずきがみられる児童に対して、学校や保護者との連携を図りながら学習支援を行う。(指導課)

【主な取組, 成果等】

実施会場である水海道地区2校(水海道小・豊岡小)、石下地区2校(石下小・岡田小)については平日の実施として継続し、土曜日については公共施設(市立図書館・石下総合福祉センター)で実施することで、設置校以外の児童・保護者の通室の利便性を図った。

⑥ 安全・安心な学校給食の提供と食育の更なる推進を図る。(学校給食センター)

【主な取組, 成果等】

- ・給食業務従事者の保菌検査(毎月2回)やノロウィルスの保菌検査(10月～3月の6か月間, 毎月1回)及び放射能検査(野菜の食材は月10回程度, 1食分の全品検査を月4回程度)を実施し安全安心な給食の提供を図った。

- ・常総市産の食材を活用（米は100％、野菜については約30％使用）し、地産地消の推進を図った。
- ・豊岡給食センターでは、平成29年1月からの調理業務及び配送業務について、プロポーザル選定により、新たな事業者と委託契約を締結した。（5年間）
- ・給食時訪問、家庭教育学級（講話）、親子給食、給食ふれあい体験の実施し、児童生徒及び保護者等への食育の推進を図った。

2 生涯を通じた学習活動を促進します

自ら進んで学ぶ生涯学習社会に呼応し、多様な学習機会と情報の提供、指導体制の充実を図り、自己実現に向けた市民の主体的な取り組みを積極的に支援します。

また、各種文化事業やスポーツ事業の充実と活動組織の育成を図り、市民相互の交流を促進します。さらに、市民の誇りである貴重な有形無形の歴史文化遺産の適切な保全・継承に努めるとともに、情報発信と有効活用を進めます。

◎ 本年度の重点目標

① 関東・東北豪雨災害により被災した施設の早期復旧を図る。(生涯学習課, 図書館)

【主な取組, 成果等】

- ・被災した生涯学習センター等5つの学習施設については、現在建築中の大生公民館を除き復旧工事が完了し、平成28年度内に全館再開した。
- ・市立図書館においては、建物やエレベーター等各種設備の復旧工事を行うとともに、水害により汚損・破損した書架や閲覧机等図書館家具の購入及び設置を行い、水害前と同等以上の施設環境並びに収納量を確保し、平成28年10月に再開した。

② それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を充実させ、生涯にわたる学習の継続による一人ひとりの資質・能力の向上を目指す生涯学習を推進する。

(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

前期（6月～11月）及び後期（12月～3月）に分けて、教養講座（市民大学、文学・歴史各コース）や料理教室、健康講座、趣味の講座ほか、一人ひとりのライフスタイルに応じた学習機会を企画・実施し、生涯学習の推進を図った。

③ 市民の自主的文化・芸術活動を支援する。また、再生の出来ない郷土遺産の保全、歴史的建造物、資料等の利活用を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

- ・「長塚節文学賞」を開催し、広く作品を募集した。また、入選作品集の刊行も行い、「節のふるさと常総」の文化を全国に発信した。
- ・20回目となる「篠山木挽き唄全国大会」の記念大会を開催し、木挽き唄の普及、保存伝承を図った。
- ・27年度に水害の影響で中止となった市民の文化芸術の発表の場として開催している市民文化祭を再開し、市民の文化・教養の向上と文化団体の育成を図った。
- ・鴻野山地区の土地改良事業にかかる記録保存のための発掘調査を実施し、遺跡の存在を確認した。出土した遺物は、当市の歴史において貴重な資料であり、今後、適切な管理・活用を進めて行く。

④ 青少年育成常総市民会議や青少年相談員の全市的な連携、子ども会組織の円滑な運営を支援する。(生涯学習課)

【主な取組、成果等】

- ・青少年育成常総市民会議と青少年相談員会の共催による「少年の主張大会」は、第3回の開催となった。今後も、「少年の主張大会」を継続し、広い視野をもった考え方や柔軟な発想力・想像力の向上を図っていく。
- ・常総市子ども会育成連合会においても「子どもまつり」や「サマーキャンプ」等を開催し、人間社会で生きていくための様々なスキルを体得させることにより心身ともに健やかな青少年の育成を図った。

⑤ 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみ、健康づくりを進める生涯スポーツ社会の実現を目指し、総合型地域スポーツクラブの設立を支援する。(スポーツ振興課)

【主な取組、成果等】

現在、設立されている総合型地域スポーツクラブである「常総スポーツクラブ」の活動を支援しており、主な支援活動として、活動施設の確保、主催事業の広報、スポーツ教室の委託を継続して実施した。幼児から高齢者までの体力やニーズに応じたスポーツ活動が主で、所属会員は高齢者を中心に約50名程度で推移している。

⑥ スポーツをとおしてふれあい、市民相互の交流活動を促進する魅力あるスポーツ体験イベントを開催する。(スポーツ振興課)

【主な取組、成果等】

- ・復興祈念 平成28年度 親子 de いきいきスポーツフェスタの開催
- ・復興祈願 常総市<絆>駅伝大会の開催

総合評価

1 「学校教育を充実し、次世代を育てる」ことについて

○ 平成27年9月の関東・東北豪雨により被災した学校施設の復旧が順調に進められ、教育環境が整備されたことを評価したい。児童生徒は、普段の学校生活に戻り、登校して勉学に励めること、友と遊び、語らえることの楽しさ、大切さを学んだことと思う。

また、小中学校での一斉の防災訓練については、恒常化して、防災教育の実践により、防災意識の向上並びに災害への対応力強化に取り組まれることを願う。

○ 中学校に続いて小学校にも空調設備が設置され、児童生徒の学習環境が大きく改善されたことと思う。今後は、それぞれの施設の状況を的確に把握したうえで、教育環境の整備、充実を図られたい。

○ 学習指導要領の趣旨に則り児童生徒の教育に取り組んでいただきたい。また、2020年度から実施される次期学習指導要領の検討にも早期に取り組んでいただきたい。

児童生徒の学力の向上を支える最大の要素は教員の指導力であることは言うまでもない。教員一人一人が自分の所属する学校の課題を把握し、さらに共通理解したうえで、その解決に向けた地道な実践や研修を積み重ねていくことが大切であろう。

○ 情報化社会に乗り遅れることなくICT活用の推進と授業への活用に積極的に取り組んでほしい。セキュリティ教育及びリテラシー教育が大切である。

○ 学習につまずきが見られる児童生徒に対しては少人数でのきめ細かい指導が大切である。「常総ほっとサタデー教室」の継続、拡充に期待する。

○ 学校給食への最大の願いは安全・安心な食の提供である。「学校給食衛生管理基準」及び「学校給食衛生管理マニュアル」にもとづいて今まで以上に衛生管理を徹底していただきたい。

2 「生涯を通じた学習活動を促進する」ことについて

- 関東・東北豪雨によって被災した諸施設の復旧への努力を評価したい。
- 市民のライフステージに応じた学習機会の提供は、生活の豊かさを求めるうえで必要なことである。そのためには、多様な学習プログラムの提供とともに学習情報の発信、学習施設の充実、学習活動の支援等がますます重要である。
- 郷土の歴史的遺産を大切にすることは郷土を愛する心である。特に全国的な関心事になりつつある「長塚節文学賞」のさらなる充実に期待する。
それに加え、市民の間で、長塚節の業績への理解がもっと深まることを望む。
- 青少年の健全育成においては、それぞれの機関、組織の役割や活動内容を再確認、見直しを行い、そのうえで連携の強化を図ることが必要と考える。
青少年育成常総市民会議の石下地区の対応については早急な検討をお願いしたい。
また、少子化に伴い、「子ども会活動」ができなくなっている自治区が増えているようである。「子ども会」は、地域の大人と子どもをつなぐ重要な組織であり、実態を把握したうえで、復活の方法を探してほしい。
- リーダース高校生会は、若者が社会活動に参加することによって、人間的に大きく成長していく意義ある組織であると思う。高校への働きかけと、連携を深めるための努力が必要であろう。
- 人の前で自分の考えを述べることを苦手とする子供たちの傾向を解消するためにも「少年の主張大会」の充実に期待する。柔軟な思考力、発想力、想像力そして自信を身につける機会の継続的な提供を望む。
- 総合型スポーツクラブである「常総スポーツクラブ」への充実した支援を行い、スポーツを愛する市民の裾野の拡大を期待する。
- 常総市駅伝大会の毎年開催については、多くの障害があると想像するが、関係機関と協議し、継続的行事として位置づけし、市民に活気を与えていただきたい。

<項目別点検及び評価>

達成度	計画又は目標を	有効性	
○	達成又は概ね達成	◎	成果がある
△	及ばず	○	一定の成果がある
×	実施できず	×	成果がほとんどない

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見

1-(1) 学校教育の充実						
①就学前教育の充実						
	教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の安全を第一に施設の修繕を優先的に実施した。 工事件数：29件 工事費：1,199千円 ・一般備品購入 400千円 ・教材備品購入 248千円 ・豪雨災害復旧（玉幼，御城幼） 備品購入 5,996千円 消耗品購入 842千円 「常総市立幼稚園のあり方検討会」を再開し，5月及び7月に統合幼稚園の建設場所や今後の進め方などに関する意見交換を行った。また，庁内関係課と幼児施設の統廃合や土地利用の検討を行うとともに，12月に坂東市の認定ごども園の視察を行った。 	△	再編・統合計画の進捗を見極め，改築計画を検討していく。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・通園中の安全確保は言うまでもないが，園内での生活は安全が何より重要である。教職員の安全教育，施設の完璧な整備，危険場所の点検・補修等は定期的，継続的，計画的に行うことが不可欠である。
			○	継続	◎	
			△	小規模化の進んでいる東部地区3園の統合を先行して検討する。	○	
②学校教育環境の整備						
	学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した学校施設の復旧経費（繰越事業） 玉 幼 2件 551千円 御城幼 1件 518千円 大生小 13件 152,783千円 玉 小 11件 145,526千円 石下小 3件 12,982千円 水海道中 10件 132,510千円 石下中 11件 206,977千円 ・小学校空調整備工事（全14校） 普通教室や特別教室等への設置工事 482台 1,172,221千円 	○	文科省が推進する長寿命化対策により，校舎・屋内運動場等の施設をできる限り長く使用できるような改修を計画的に行っていく。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・関東・東北豪雨で被災した施設の復旧は最優先である。子供，親，教員が安心して教育活動のできる環境が一番であり，修繕予算の確実な確保に期待する。 ・学校は災害時に避難場所として利用される可能性が高いので避難を考えた設備の設置を希望する。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
教育環境の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・一般備品購入 18,574千円 ・教材備品購入 16,625千円 ・図書購入 5,541千円 ・豪雨災害復旧（大生小，玉小，石下小，水海道中，石下中） 備品購入 24,947千円 消耗品購入 1,438千円 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会の波に乗り遅れないようにセキュリティに十分留意して積極的に取り組んでほしい。 ・通学路の危険箇所を関係機関と点検，協議し，特に新入生に周知徹底するため「ヒヤリ・ハット」地図（危険箇所表記）の配布を希望する。 ・職場体験学習は，生徒の遠い将来まで見据えた意義ある活動である。短期間の活動であるが，生徒にとって生涯の思い出となる場合もあるし，時にはその体験が大学進学後の進路選択に生かされたという話を聞いたこともある。さらなる工夫を重ねてほしい。
		原子力・エネルギー教育支援事業補助金による備品購入 1,914千円	○	継続	◎	
		学校情報通信センターシステム，校務支援システムの運用により，学校情報化及び教職員の業務の軽量化を図った。 センターシステム運用経費：13,576千円 校務支援システム運用経費：2,645千円 情報機器借上：66,809千円 （教育用パソコン890台（内タブレット652台），校務用パソコン495台等）	○	教育情報化推進計画に基づき，教育の情報化を計画的に推進する。	◎	
学校の安全対策強化	危険箇所及び老朽化した施設の修繕を実施した。 工事件数：小学校 147件 中学校 56件 工事費：小学校 23,512千円 中学校 6,243千円	○	修繕予算の確保に努めるとともに，長寿命化計画に準じた校舎等の改修を推進していく。	◎		
通学環境の整備	「常総市通学路交通安全プログラム」に基づき，通学路安全推進会議を開催し，通学路の安全確保等について協議するとともに，通学路の合同安全点検を実施した。危険箇所のうち22ヶ所について安全対策を実施	△	関係機関や関係課と連絡を密にし，通学路の安全確保に努める。	○		
地域と連携する学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価の実施 ・地域人材の活用及び職場体験等の実施 ・各校HPに地域自慢の掲載 等を推進 	○	継続	◎		
③学校教育内容の充実						
新たな教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の学校活性化加配講師，教育補助員，外国人児童生徒支援員の配置 ・少人数指導や習熟度別指導などによる「個に応じた指導」を実践 ・適応指導教室と学校との連携強化 ・不登校児童生徒の解消に向けた取組 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・現在，常総市の各学校の研究発表会は3年間の研究のまとめとして開催されている。その後の2年間ぐらいは，研究した成果を活かした実践を続けて，新たな課題を把握し，課題解決に向けた仮説を立てるとい 	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「ベーシックトレーニング」を実施し、基礎学力の定着を図る。 常総ほっとサタデー教室の開催 	○	継続	◎	な進め方も考えられるのではないだろうか。
	体験的地域学習の展開	<ul style="list-style-type: none"> 中学生議会の開催 地域の特色を生かした体験学習の充実 討議する活動や問題解決的な学習の推進 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育を充実させるためには、専門機関あるいは専門的にかかわってくれる人との連携体制を築いていく努力が必要であるとする。
	高度情報化への対応	<ul style="list-style-type: none"> I C Tの活用の推進 学校情報通信センターシステムの運用 	△	学校とも連携して教育の情報化を推進していく。	○	<ul style="list-style-type: none"> JOSO若手教員アカデミーの充実・発展を期待する。
	交流教育・国際理解教育の推進	A L Tの活用による幼稚園からの英語活動の充実（「A L Tと英語で遊ぼう」の実施等）	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> 少人数の事務職員が職場で孤立化することがないようにメンタル面の支援が必要である。
	特別支援教育の充実	個の教育的ニーズに応える教育支援	△	継続	○	
	教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 要請訪問等での授業公開 JOSO若手教員アカデミー(研修会)の拡充 学力向上プロジェクト事業による各学校の学習指導の改善 	△	継続	○	
	学校事務の共同実施	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も市内2つの共同実施グループに分かれ、事務書類の相互検閲、経験の浅い事務職員への支援、児童生徒の転出入事務資料の整備支援、スキルアップ研修などを実施した。 「JOSO若手教員アカデミー」において、若手教職員への給与等の講座を実施し、職員の資質向上に寄与した。 平成28年度茨城県公立学校事務職員研究大会において、「常総市における学校事務共同実施の取組～学校事務の効率化から、教育支援まで～」の発表を行った。 	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
④健康な児童生徒の育成						
	安全教育の充実	・発達段階に応じた避難訓練の実施 ・被災時の対応の仕方に関する指導	○	継続	◎	・体育的行事として、中学校の運動会の在り方を見直すべき時期に来ているのではないかと思う。近年、ごく短期間の練習で運動会を開催する中学校が多い。全種目は無理だろうが、一種目でも、限られた時間の中で精魂込めた練習を体験してこそ、生徒の達成感は養われるのではないだろうか。生徒の精神的成長につながる運動会の在り方を検討してもらおうよう望む。
	教育相談の充実	児童生徒のカウンセリング体制の充実	○	継続	◎	
	体力向上及び健康管理の強化	・体育的行事の奨励 ・運動部活動の充実と効果的な指導	△	継続	○	
	基本的な生活習慣の確立	・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進 ・あいさつ運動や読書活動等による基本的な生活習慣の定着	○	継続	◎	
1-(2) 高校・高等教育の充実						
①高等学校の特色化						
	地域活動との連携	地域の高等学校が主催する弁論大会における中学生の参加及び審査員（指導主事）の派遣	○	継続	◎	・常総市内各高等学校の生徒たちがより一層地域の社会活動にかかわるようにするためのさらなる啓発活動を望む。
	高等教育機関等との連携	小中学校一斉防災訓練における茨城大学との連携	○	継続	◎	
②幼稚園・小学校・中学校・高等学校の連携						
	連携した事業の取組	・県の事業「学びの広場サポートプラン」（小学校・中学校）へ高校生ボランティアの派遣 ・中学校における進路学習で高校生による講話の実施 ・小中学校間の教師、児童生徒の交流授業や訪問活動 ・中学校教諭による小学校での出前授業の実施 ・さわやかマナーアップ運動の小中合同での挨拶運動の実施	○	継続	◎	・県の事業「学びの広場サポートプラン」への高校生ボランティアの派遣は、是非継続してもらいたい。
	協力して進める行事等	一斉防災訓練・学校行事等での積極的な交流	△	継続	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
1-(3)学校給食の充実と食育の推進						
①学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人一人が健康な生活を送れるように安全安心な給食提供の充実を目指すと共に、郷土への関心を深め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うために地産地消の推進を実施した。 提供回数 豊岡 1日3,285食 年194回 玉 1日3,281食 年194回 地産地消 米100%, 野菜は約30% ・豊岡給食センターでは、プロポーザル選定により、調理業務及び配送業務を新たな事業者と委託契約した。(H29.1~) ・スチコンオープン及びマイコンスライサーを購入し、調理機器の更新を図った。(豊岡給食センター) 	○	玉給食センターでも調理及び運搬業務の民間委託を進める。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人一人が健康な生活を送れるよう安全・安心な給食の提供を願う。 ・郷土への関心を深めたり、身近で働く農家の方々への感謝の気持ちを育て地元農家への高い関心を持たせるため地産地消を推進していただきたい。 	
②学校給食の安全・安心	<p>「学校衛生管理基準」等に基づいた適切な衛生管理に努め、食中毒発生の防止に努力し、保菌検査を実施。安全な食材の購入においては放射能測定検査の実施。給食業務従事職員の更なる資質向上のために各種研修には積極的に参加した。</p> <p>【保菌検査】 給食業務従事者は毎月2回実施。平成28年度からノロウィルスの保菌検査も追加実施。</p> <p>【放射能測定検査】 野菜の食材を月10回程度、1食分の全品検査を月4回実施。</p>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食では食中毒の発生が起きないように取り組みが最大の関心事である。学校衛生管理基準に基づいた衛生管理に努めるとともに、保菌検査や放射能測定検査は徹底して実施していただきたい。 	
③学校・家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭等による学校・家庭・地域社会を含めた、食生活に対する正しい知識を持った児童生徒の育成、並びに、家庭教育学級等において保護者を対象とした食育の啓発・推進を実施した。 ・親子給食・家庭教育学級(小学校1年生)、給食ふれあい体験を実施した。 ・毎月の献立表に季節に合った最新情報を「給食だより」として掲載した。 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭の的確な指導、献立表、給食だより等を効果的に活かし、家庭を通して食の重要性を啓蒙していただきたい。 	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
④食物アレルギーへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の献立表に使用食材の記載等の情報提供を行うと共に、学校や保護者との緊密な連携を図り、食物アレルギーへの対応に努めた。 ・学校・保護者・給食センターによる3者面談も実施。 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「常総市食物アレルギー対応マニュアル」を有効に活用し家庭・学校・給食センターが連携し児童生徒一人一人にあったきめ細かい対応を願う。 	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
2-(1) 生涯学習の充実						
①生涯学習推進体制の整備						
	推進組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域女性団体連絡会をはじめ諸団体の活動支援を行い、各団体における指導者の活用を図っている。 ・地域連携事業では、地域で活躍する人材の確保に努め、指導者として活用できる体制づくりを推進している。 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習は、あくまでプライベートな学習活動である。その中で学習活動の活性化を図るためには、優れたリーダーの育成と自主的活動への支援が大切である。そのような視点で推進組織が作られ、運営される必要があると思う。 ・学習情報の提供にあたっては、より有効な方法の工夫が必要であると思う。せつかく良い企画をしながら、多くの情報にまぎれてしまって、市民にうまく伝わっていないことがあるようだ。
	学習情報の提供	<p>広報紙やホームページ、全戸配布チラシを活用し、講座の受講生募集やイベントの案内等、情報の提供を行った。</p>	○	継続	◎	
②学習施設の充実						
	災害復旧の推進	<p>大生公民館を除く被災4施設の復旧工事が完了し、いずれも、災害前と同じ利用が可能となった。</p> <p>生涯学習センター復旧工事 97,829千円 地域交流センター復旧工事 60,502千円 大生公民館解体工事 5,500千円 石下集会所復旧工事 4,800千円 石下文化センター復旧工事 13,587千円</p>	○	建設中の大生公民館については、平成29年度中の竣工を予定している。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・大生公民館を除く被災4施設の復旧工事が完了したことについては、関係者の努力を評価したい。 ・老朽化した施設も多くなっているようである。実態を的確に把握し、早めに修繕を実施できるよう努力を継続してほしい。
	学習施設の機能充実	<p>上記学習施設の復旧のほか、老朽化等により修理が必要な施設において、修繕を実施した。</p> <p>【主な修繕】</p> <p>坂手公民館照明設備修繕 95千円 駐車場区画線工事 151千円 (水海道公民館、石下中央公民館) 石下西公民館雨漏修繕 190千円 豊田文化センター看板・外灯設置 340千円 地域交流センター地下ピット修繕 259千円</p>	○	計画的に修繕を実施していく。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	施設の有効利用	各種講座・イベント・団体等の研修による利用のほか、講演会や音楽会、学習成果の発表・展示の場として施設の特性に合った活用を図った。	○	引き続き施設の有効利用を図る。	◎	
③学習活動の支援						
	学習プログラムの提供	各種講座や教室を開催，市民大学事業「歴史コース」「文学コース」など学習プログラムを実施した。	○	受講者の意見やアンケート結果を反映した講座の開催に努める。	◎	・今後も常に参加者の意見などに気を配る姿勢を大切にして学習プログラムを提供してほしい。 ・家庭教育学級は，親としてのあり方を学ぶのが第一の目的であるが，同時に，同学年の保護者の連帯感を深めていく大切な役割も担っていると思う。できれば，学年が上がっても，自主活動として育っていくことが望ましいと考えている。保護者の教育力向上につながっていくのではないだろうか。
	自主企画の推進	生涯学習センター及び地域交流センター等利用して，自主事業を開催実施した。 ○陸上自衛隊東部方面音楽隊演奏会 平成28年6月11日（土） ○青少年の家野球場リニューアルイベント 平成29年3月20日（月）	○	継続	◎	
	地域課題対応の活動推進	市内小中学校(19校)家庭教育学級の開催実施	○	継続	◎	
	公民館活動の推進	公民館まつりの開催及び各公民館バスハイク等の自主事業の開催実施	○	継続	◎	

2-(2) 青少年の育成						
①青少年育成推進体制の強化						
	関係機関・関係団体との連携	茨城県及び公益社団法人茨城県青少年育成協会との連携を図り推進した。	○	継続	◎	・関係機関，関係団体との連携を深めるために大切なのは，まず，それぞれの機関・団体の果たすべき役割を明確にし，共通理解を図ることであると考えている。 ・青少年育成常総市民会議石下支部の設立が懸案になっている。この問題については，行政側の努力だけでなく，水海道地区・石下地区で青少年育成にかかわっている，指導的立場の人達の意見交換が重要ではないだろうか。
	育成組織の強化	青少年育成常総市民会議の石下地区における支部が未設立である。	×	石下地区での支部設立を図る。	×	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②青少年育成活動の推進						
	学校・家庭・地域との連携	放課後子供教室を開催。 市内14小学校のうち10校で開催。	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の開催は、社会の要請に応じた適切な事業であると思う。市民の要望に沿った施策の工夫をさらに進めてほしい。 ・青少年相談員や青少年育成常総市民会議の活動内容は、まず、各地域の青少年の生活の実態を把握することによって、工夫を重ねていく必要があると思う。
	活動企画の充実	ふれあいサマーキャンプを実施し、体験活動をとおして健全育成を図った。また、リーダーズ高校生会とも連携し、活動の充実を図った。	○	継続	◎	
	地域環境の改善	青少年相談員による街頭指導活動や青少年育成常総市民会議各支部による「あいさつ声かけ運動」の実施及び通学路の安全点検を実施。	○	継続	◎	

2-(3) 地域文化の醸成						
①地域文化振興体制の充実						
	文化芸術振興計画の策定	文化芸術振興審議会の答申を受けて、計画策定を検討したが、水害の影響が残り未実施となった。	△	引き続き作業を進め、早期の計画策定を目指す。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度は水害の影響が残り未実施ということであったが、29年度は少しずつでも計画策定が推進されることを望む。
②地域文化活動の推進						
	文化事業の推進	水害の影響で中止となった市民文化祭、長塚節文学賞、篠山木挽き唄全国大会を再開し、市民の文化向上に努めた。	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・文化事業が水害の影響から立ち直り、復活したことは喜ばしいことである。
	地域文化情報の発信	市所在の史資料、文化財等のデジタルアーカイブ化の取り組みを始め、デジタル化の作業を行った。	○	引き続きデジタルアーカイブ化による情報発信を進める。 (H29.4.29より公開開始)	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、長塚節の小説「土」の映画上映や講演が企画されたことがある。そのような企画も意義あることと思うが、長塚節は、短歌の世界でも高く評価されてきた人である。そのことが地元であまり知られていないように感じられる時があり、残念に思うことがある。将来を考えると、特に小中学生への啓発の機会を設けるのも良いのではないだろうか。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③郷土遺産の保全と継承						
	郷土遺産の調査・保護の充実	鴻野山地区にて土地改良に伴う発掘調査事業を実施，完了した。	○	民間開発計画があった際に必要に応じて調査の実施を検討する。	◎	・常総市の鬼怒川西部は，遺跡の多いところである。今までに発掘調査等も数多く行われている。郷土遺産は，ぜひ若者（特に小中学生）に知らせたいものである。啓発に有効なパンフレット等の資料の整備を望みたい。
	歴史文化等資料の整備と情報提供	「千姫まつり」などにおいて資料展示を実施。	○	原資料の展示と併せて，デジタルデータを活用した情報発信を進める。	◎	

2-(4) スポーツの振興						
①スポーツ施設の有効利用						
	スポーツ施設の整備・充実	【指定管理施設市負担整備事業】 ○水海道総合体育館 902,741円 ボイラー室空気抜き弁交換修繕，浄化槽修繕，浄化槽ブロワー交換修繕，ポンプ交換修繕 ○きぬ温水プール 76,442円 貯水槽センサー修繕 ○石下総合体育館 1,397,520円 移動式バスケット台修繕，トレーニングルームカーペット修繕，サブアリーナ照明修繕，アルミ製高所作業台修繕，屋外ソーラー時計修繕 ○吉野サンビレッジ 226,800円 放送設備修繕 総合計 2,603,503円	○	指定管理者との連携を図り，利用者の安全や満足度の向上を考慮し，スポーツ環境の充実のため，計画的に整備事業を継続していく。	◎	・専門的な知識，経験を持つ指定管理者の導入で，効率的な運営がされ，安全が守られており，有効であると考え。老朽化に伴う危険箇所等の点検を継続的，計画的に行い，安心してスポーツができるよう施設の充実を願う。 ・施設の利用頻度が増加している現状でスポーツへの親近感，関心度をさらに高めるためにも積極的に学校体育施設を開放することを望む。使用料の徴収も必要であろう。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<p>【指定管理外施設整備】</p> <p>○小貝球場 3,890,224円 スチールプレート台, ホームベース受け金具修繕, 倉庫ドア修繕, 水洗トイレ修理, 小便器トイレ修繕, 出入りロフェンス修繕, 内野・外野整備</p> <p>○豊田球場 34,560円 架空配線断線修繕</p> <p>○原山球場 452,520円 内野ベース・スチール固定金具修繕, スコアボード修繕</p> <p>○石下体育館 1,760,400円 高圧引込線改修工事</p> <p>○橋本運動公園 278,898円 環境整備業務委託</p> <p style="text-align: right;">総合計 6,416,602円</p> <p>【指定管理者による施設整備実績】</p> <p>○水海道総合体育館 211,511円</p> <p>○きぬテニスコート 5,400円</p> <p>○きぬ温水プール 140,400円</p> <p>○水海道球場 113,400円</p> <p>○石下総合体育館 171,828円</p> <p>○石下テニスコート 126,684円</p> <p>○吉野サンビレッジ 58,860円</p> <p>○その他整備関係経費 300,442円</p> <p style="text-align: right;">総合計 1,128,525円</p>				

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学校体育施設の開放	<ul style="list-style-type: none"> ○開放対象学校 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 14校, 中学校 5校 ○開放時間 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育館 <ul style="list-style-type: none"> 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・小学校校庭 <ul style="list-style-type: none"> 平日 18時～22時 (大生小, 飯沼小のみ) 土日祝 8時～17時 ・中学校体育館・武道館 <ul style="list-style-type: none"> 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・中学校校庭 8時～17時 ○使用団体 79団体 ○利用者数 <ul style="list-style-type: none"> ・体育館 55,588人 ・校庭 6,450人 ・武道館 10,861人 	○	利用団体の登録は、減少したものの、利用頻度が増加したため利用者数については、増加傾向にある。今後も、地域住民の身近なスポーツ施設として、開放事業を継続していく。	◎	
	施設管理・運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設の利用者数 262,048人 ※対前年度 133% ・自主事業の開催実績 14種目に渡り年間通して開催 参加者延人数 3,692人 ○指定管理料 97,000,000円 	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②指導者・活動団体への支援						
指導者への支援と確保	<p>○スポーツ推進委員活動 報酬 @30,000円×18人=540,000円 市民歩く会の引率指導, 親子deいきいきスポーツフェスタ運営係員として協力, 各種研修会への参加</p> <p>○スポーツ少年団指導者の育成及び確保 県スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会への参加</p> <p>○スポーツ教室での指導者確保 柔剣道教室(体育協会石下柔道部・石下剣友会指導者), レディースゴルフ教室(体育協会ゴルフ部), 健康水泳教室(スポーツ推進委員), ジュニアハンドボール教室(スポーツ少年団ハンドボール指導者), 大極拳教室(体育協会太極拳部), 卓球教室(体育協会卓球部), 公式テニス教室(体育協会テニス部)</p>	○	市内各種スポーツ団体に対し, 講習会や研修会の情報を積極的に提供していくことで, 指導者の養成と資質の向上に努める。更に主催するスポーツ教室において, 市内のスポーツ団体指導者を積極的に活用し, 指導者確保を図る。	◎	・各種のスポーツ団体への経済的な支援, 指導者の養成は今後も継続していただきたい。	
活動団体への支援	<p>体育協会及びスポーツ少年団の事務局として, 加盟する各種スポーツ団体や会員の交流や自主事業の運営を実施している。また, 団体運営のための補助金申請等の事務を実施している。</p> <p>【補助金交付額】 ①体育協会 2,000,000円 ②スポーツ少年団 1,000,000円</p> <p>【加盟団体数及び会員数】 ①体育協会 36団体 2,550人 ②スポーツ少年団 39団体 872人</p>	○	茨城国体開催や東京オリンピック開催を間近に控え, スポーツ気運の高まりを背景に団体の運営と会員増に向け引き続き継続支援を実施する。	◎		
総合型地域スポーツクラブへの支援	<p>○活動施設の確保 ・学校体育施設の利用 ・スポーツ施設の優先予約</p> <p>○活動事業の後方支援 ・主催事業のお知らせ版掲載</p> <p>○スポーツ事業の委託 ・ウォーキング教室開催委託費 100,000円</p>	○	今後も活動場所の確保や活動のPR等による支援を継続的に実施していく。	◎		

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③	スポーツ活動の促進					
	生涯スポーツの普及	<p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催教室定員 1,480人 ・参加者数 866人 ・ニーズ度 58.5% ・事業費 1,085,000円 <p>【スポーツ普及・推進分野】 柔剣道教室（柔道41人，剣道23人）， ジュニアハンドボール教室前期（40人）， ジュニアハンドボール教室後期（59人）， レディースゴルフ教室（32人）， 硬式テニス教室（16人）， 卓球教室（30人）</p> <p>【健康増進分野】 健康水泳教室（446人）， アクアビクス教室前期（35人）， アクアビクス教室後期（40人）， 太極拳教室（26人）， シェイプアップ教室（61人）， ウォーキング教室（17人）</p>	○	開催種目での参加率の差があるため，新たな種目を取り入れることも検討しながら，継続して実施していく。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ各種団体会員の高齢化が進み，施設（水海道総合体育館，石下総合体育館等）までの交通手段の確保（特に各種団体の市レベルの大会等）を検討願いたい。 ・平成31年度の国民体育大会開催を記念してのイベントを考え，恒常的な市の行事としていただきたい。
	スポーツイベントの開催	<p>○復興祈念平成28年度親子deいきいきスポーツフェスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※事業費 1,236,640円 内スポーツ振興くじ助成金 934,000円 ※参加人数 1,500人 <p>○復興祈願 常総市＜絆＞駅伝大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ※事業費 4,227,327円 ※参加者及び応援 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 小学生210人，中学生100人 ・沿道応援 約3,600人 ・協力係員 約400人 	○	今後は，交流人口の増加に向け地域の特色を盛り込めるイベントとして実施していく。	◎	
	自主企画の推進	市内各種スポーツ団体への活動補助金申請交付（16団体） 692,000円	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	競技スポーツの振興	国体記念 第43回常総市長杯争奪 茨城県中学校ハンドボール大会開催 ※参加校 男子18校, 女子16校 合計34校 ※事業費 445,800円 (市負担286,079円)	○	地域スポーツの特色として, 大会の更なる充実と競技力の向上を視野に継続していく。	◎	
④平成31年度第74回国民体育大会開催準備の推進	○いきいき茨城ゆめ国体守谷市・常総市・坂東市実行委員会への負担金支出 ※負担金 10,000,000円 ①啓発活動 ・マスコットキャラクターによる活動 ・啓発商品の作成販売 ・国体ダンスの普及 ②先催都市視察 ・愛媛リハーサル大会 松山市・西条市 ・希望郷いわて国体視察 花巻市 ・事業説明会 花巻市 ・日本リーグ視察	○	国体開催時における全国からの来場者に対し, 記憶に残る大会になるよう, 守谷市, 坂東市とともに協力し, 負担金の支出を継続していく。	◎	・平成31年度国民体育大会においてハンドボール会場となる当市の活躍と競技運営の成功を願う。	
2-(5)図書館活動の推進						・関東・東北豪雨により被災した施設の復旧に日夜取り組み, 早期に復旧したことに対し敬意を表する。
①災害復旧の推進	・被災した図書館施設の復旧工事と図書館備品(書架・什器)を設置した。 建物復旧工事: 13,164千円 エレベーター復旧: 7,992千円 書架設置工事: 44,280千円 図書館家具: 30,704千円 ・水害により, 多くの資料が損失したため資料の収集に努めた。 資料購入費 11,400千円 図書 4,163冊, 視聴覚資料 283点 寄付金での資料購入 7,015千円 図書 2,183冊, 視聴覚資料 323点	○	継続	◎		
②図書館機能の拡充						・仮設図書館という悪条件にもかかわらず情報収集, 資料の提供に積極的に取り組みながら配本事業, 読み聞かせボランティア, ブックスタート事業等の事業の実施は高く評価する。
	図書館サービスの充実	【蔵書数】 市民の暮らしに身近に役立つ図書館として情報収集や資料の提供に努めた。 蔵書数: 130,903冊 視聴覚資料: 10,937点	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<p>【仮設図書館の設置】 図書館の復旧工事期間中、仮設図書館（プレハブ）を設置し、利用頻度の高い小説や、児童書を配架し暫定的な図書の貸出業務を行った。 4月～8月 利用者数 1,170人/月 貸出冊数 4,858冊/月</p> <p>【利用者数】 復旧工事のため、8月末日までは仮設での運営、9月は、再開準備のために休館した。そのため、利用者数や貸出数については、例年と比較し減少した。 利用者平均：71人/日 貸出冊数：285点/日</p>	△	今後、利用者の拡大に努める。	○	
		<p>【年間事業】 図書館の利用者の拡大を図るために、本館再開後、各種事業を実施した。 ・小学生による図書館見学 5校 162人 ・赤ちゃんと遊ぼう 7組15人の参加 ・クリスマス会 27人参加 ・絵本作家講演会 50人参加</p>	○	継続	◎	
		<p>【配本事業】 市内の小中学校の蔵書拡充のために学校配本事業を本館再開後、三妻小、鬼怒中へ実施した。 市立保育所、幼稚園への巡回絵本貸出については、蔵書確保のため中止した。</p>	△	蔵書の確保に努め、今後も計画的に継続していく。	○	
		<p>【読み聞かせボランティア】 学校、幼稚園、保育所及び児童クラブへの読み聞かせボランティアを派遣し、こどもの読書への関心を高めて、本を好きになってもらう手助けをした。 30施設、112回開催、参加者6,968人 また、ボランティアのレベルアップを図るため研修会を開催した。26人参加</p>	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		【ブックスタート事業】 保健推進課で実施する12か月健康診断時に、絵本を介しての親子のふれあいを深めてもらうためにブックスタート事業を実施した。 参加者 359組の親子 絵本・イラストアドバイス集 282千円	○	継続	◎	
		【図書館ホームページの充実】 復旧工事の進捗状況や、各種行事の状況などの更新をし、図書館活動のPRを図った。	○	継続	◎	